

認定こども園さくら保育園 運営状況の報告

令和3年2月25日

1. 園児数について

第2回会議では、総数25名。

内訳は、0歳児9名、1歳児9名、2歳児7名。と報告いたしました。

その後

令和3年2月25日時点で、総数29名となりました。

内訳は、0歳児9名、1歳児10名、2歳児10名です。

なお、令和3年度の園児数につきましては、定員60名。

内訳は0歳児6名、1歳児17名、2歳児17名、3歳児20名です。

なお、今年度末をもって、市外転居等で転園園児は5名です。

1次募集の利用調整の結果、継続利用者を含め、

0歳児3名、1歳児10名、2歳児14名、3歳児13名(内1号認定園児2名)

計40名です。

2. 職員について

第2回会議の時と同様、園長・事務を含め、総数16名です。

(理事長は非常勤の事務職であるが第2回会議では理事長を含めずに15名と報告しています)

また、職員の退職等の異動もありません。

今後、2次募集の結果がわかり、4月からの園児数が確定した段階で、職員の増員をしていきます。

3. 組織的な園運営・職員間の意思統一・情報の共有

第2回での報告内容と変わりませんが、今年度の総括として

1、園の組織的運営 2、組織的系統的な教育保育の充実

3、園行事等について 4、シフトについて 5、その他

をあげ全職員から意見を提出してもらった。

その中から、主な意見や対応した事柄は以下です。

- 「シフト」勤務の効率的な運用が出され、職員の意見を取り入れた新シフト勤務を、新年度に向け、3月より運用していく予定です。
- 園運営や園活動が本格的に実施されたことを受けての園務分掌の見直しを図ります。
- 園長・主幹保育教諭・副主任保育教諭との連携をさらに深め、全ての職員

との共通理解を図るための会議時間の確保を検討していきます。

4. 保育の質の向上

- 保育の質の向上については、2月の生活発表会に向け、日常保育と行事との関係を各クラスごとに研究した。
- 1月以降、前月の評価・今月の目標、年カリキュラムとの関係等を深めるため、年齢ごとのカリキュラム(月案)を、毎月、担任と主幹保育教諭とで打ち合わせし、より良いカリキュラム作成の研修を実施した。
- 園児数が落ち着いた11月より、「育児担当制」を導入した。

「育児担当制」の研修を実施すると共に、実際の保育の場での指導・助言を行った。

また、実践に基づいた研修を行い、来年度、より一層の充実を図る。
- 八尾市のこども施設課から、保育経験豊富な課長補佐、元保育所長、元認定こども園園長4名が2人1組で、7月以降、月1～2回ご来園いただき、2時間程度の保育参観の後、園長・主幹保育教諭や副主任が出席し、保育の質の向上等についての助言をいただいております。

第2回報告以降は、「感染症対策・冬の過ごし方」「早朝保育」「離乳食、アレルギー対応食の提供に関する園内連携」「午睡について SIDS チェック表」をテーマに実施された。

5. 園庭開放・一時預かり保育事業・「さくらんど」について

- 園庭開放

前回報告以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来年度入園予定園児（3歳児1号認定）の親子が来園した。その後、緊急事態宣言が出され中止した。

- 一時預かり保育事業

5月以降実施してきました。

今まで、延べ116名の利用がありました。

- 「さくらんど」について

地域子育て支援として「さくらんど」と名前をつけ、8月から毎週水曜日に実施しています。

前回の報告までで、延べ138組の親子の参加がありました。

その後、令和3年1月13日実施分までで、さらに55組の参加がありました。以降、感染症対策のため中止しています。

6. 保護者からの声

令和3年2月13日（土）に、「生活発表会」を実施しました。

各学年で時間帯を分け、人数制限、消毒、換気、加湿をし、密にならないように配慮しました。保護者の感想を添付します（別紙参照）。

7・理事会との連携

理事の方々へは、毎月、園だより・保健だよりをはじめ、園児数の報告等を欠かさずに行っています。2月の生活発表会への招待を考えたが、感染症対策もあり断念しました。

3月中旬には、理事会が開催されます。その時には、今年度の園運営の詳細等を報告していきます。